

かけはし

第67号
令和8年7月27日

団長要望事項
「本質を見極めよ」
「信頼を獲得せよ」

駐屯地司令
要望事項
「地位と共に」



web site



祝 入隊式



第26期一般陸曹候補生課程及び令和8年度自衛官候補生課程

中部方面混成団創立19周年・大津駐屯地創立67周年記念行事

中部方面混成団副団長離着任

第49普通科連隊長離着任

混成団各種訓練

大津駐屯地モニター終了式及び委嘱式

新隊員総合野営訓練を終えて



第26期一般陸曹候補生課程及び令和8年度自衛官候補生課程

中部方面混成団に約600名が入隊

中部方面混成団（団長 野口 紀幸 1等陸佐）は、令和8年4月5日松山駐屯地、4月12日大津駐屯地において、第26期一般陸曹候補生課程及び令和8年度自衛官候補生課程の入隊式を挙行了した。

入隊式に臨んだ新隊員たちは、着隊から約1週間にもかかわらず節度ある動作と規律正しい態度を披露し、まっすぐ見据えるその表情には、これから始まる教育への覚悟と自衛官としての使命感への強い決意が感じられた。初々しさの中にも凛とした姿は会場に訪れた来賓及びご家族に大きな期待感を抱かせた。

団長 野口1佐は、「これから始まる教育訓練は、体力的にも精神的にも容易ではありません。しかし、その一つ一つの訓練には意味があり、厳しい訓練を乗り越えた経験が、いざという時に自分自身を守り、仲間を守り、国民を守る力となります。自衛隊は、仲間と共に任務を遂行する組織です。互いを思いやり、支え合い、信頼関係を築くことを忘れないでください。本日の初心を決して忘れることなく、誇りと責任を胸に、立派な自衛官へと成長することを期待しています。」と訓示を述べた。

今後、新隊員たちは約3か月にわたる教育期間の中で、自衛官として必要な知識及び技能を学び、慣れない集団生活や厳しい訓練に直面しながらも、仲間とともに支えあい切磋琢磨しながら成長していく。



大津駐屯地



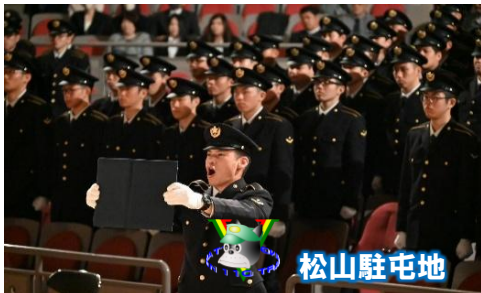
中部方面混成団長訓示



大津駐屯地



松山駐屯地



松山駐屯地

着隊から入隊式までの記録



着隊



受付



基本教練



ペットメイキング



宣誓



被服の採寸



被服の交付



武器授与式

訓練写真



体力検定(3000m走)



空包射撃



ガス体験



10km行進訓練



中部方面混成団創立19周年

躍動 率先 信頼

大津駐屯地創立67周年



中部方面混成団及び大津駐屯地（中部方面混成団長兼ねて大津駐屯地司令 野口紀幸 1等陸佐）は、令和8年4月26日中部方面混成団創立19周年及び大津駐屯地創立67周年記念行事を挙行了した。

今年度の記念行事は、「躍動」「率先」「信頼」のスローガンを挙げ、混成団及び大津駐屯地各部隊が心を一つにして本行事に臨んだ。

式典では、国会議員をはじめ部内外から多くの来賓が参列する中、司令は式辞において「ここ滋賀県大津市に所在する陸上自衛隊大津駐屯地は、全国でも最大規模の中部方面区2府19県に所在する隊員の教育を主任務として「人を育てる」ことを使命として歩んでまいりました。自衛隊の任務は、国防や災害派遣など、いずれも高度な判断力と強い使命感を求められるものですが、そのすべての原点は、「教育」にあります。」「事に臨んでは危険を顧みず身をもって責務の完遂に務めもって国民の負託に応える。」「この宣誓を自信と誇りを持って取り組めるがごとく、教育においては、知識や技能のみならず、規律心、責任感、仲間を思う心などを育むことが教育部隊の果たすべき役割であると考え、日々の教育に励んでおります。」

しかしながら、その教育は、決して我々教育部隊の努力だけで成り立つものではありません。平素より、当駐屯地の活動に深いご理解を示し、温かいご支援、ご協力を賜っているご来賓の皆様、関係機関、そして地域の皆様の存在がなくては、我々は安心して訓練と教育に専念することができておりません。施設の整備、訓練環境の確保、隊員の生活を支える数々のご配慮の一つ一つが、教育の質を支える力となっております。この場をお借りし改めて深く感謝申し上げます。」と述べた。

観閲行進では、中部方面音楽隊の演奏に合わせてこの春入隊した、新隊員約400名が若々しく澁刺とした徒步行進を披露し、約1か月で成長したわが子の姿に感動する家族も見受けられた。

その他、新隊員による自衛隊体操、新企画の陸曹候補生による5本綱引き、装備品性能展示、高機動車体験試乗等を実施し、県内外から来場した約2500名の人で賑わい本行事は盛会裏に終了した。



団長による式辞



巡 閲



車両行進



観閲行進



装備品性能展示



新隊員による自衛隊体操



新企画！5本綱引き



新企画！5本綱引き

その他こんなブースも！！😊



装備品展示



高機動車体験試乗



エアードーム



キッチンカー

第4 陸曹教育隊 (陸曹候補生課程)



第4 陸曹教育隊共通教育中隊は、長池演習場において第14期生徒陸曹候補生課程及び第149期陸曹候補生課程(1次)の総合訓練を実施した。

本訓練は、徒步行進に引き続き、軽易な状況に対する小銃分隊長等の実員指揮及び状況判断の概要習得を目的として行った。学生たちは戸惑いながらも、次々起こる状況を学生一人一人が、自分の役割を理解し、相互に連携しながら任務を遂行した。

第4 陸曹教育隊 (陸曹中級課程)



第4 陸曹教育隊中曹教育中隊は、日吉原演習場において第23期陸曹中級課程総合訓練を実施した。

この訓練は、状況判断及び実員指揮を概ね習得することを目的とし、段列開設予定地域の確保・警戒任務が学生たちに付与された。学生たちは、不測事態に対する迅速かつ確実な対応が求められる中、これまで訓練で培った知識・技能を十分に発揮し小隊長及び分隊長それぞれが役割を認識し相互に連携を図りながら任務を遂行した。



大津駐屯地モニター終了・委嘱式



委嘱状授与



終了証授与



体験喫食



記念メダル授与

大津駐屯地は、令和6年度防衛モニター・令和7年度駐屯地モニター終了式及び令和8年度防衛モニター及び駐屯地モニター委嘱式を実施した。

終了式では、終了するモニターの皆様へ、各種行事の参加や広報活動へのご協力に対し、駐屯地司令より終了証及びメダルを授与するとともに感謝の意を表しました。

続いて行われた委嘱式では、令和8年度モニターの皆様へ駐屯地司令より委嘱状を授与し、今後の活動への期待を込めて激励を行った。

また、駐屯地見学や体験喫食を行い自衛隊への親近感を醸成することができた。

防衛モニター及び駐屯地モニターは、自衛隊及び駐屯地に対する理解促進や地域との信頼関係構築などの目的で行われており、モニターから聴収する意見は、広報活動や各種行事に生かされている。

モニター活動に興味がある方は、大津駐屯地へお問い合わせください。

新隊員総合野営訓練を終えて



109教育大隊315中隊
2等陸士 熊本 圭吾

私は、総合野営に行く前は不安と楽しみが半分でした。

特に不安に感じていたのは25キロ徒步行進です。入隊まで重い荷物を持つて長い距離を歩くことが無かったので自分がどこまで歩けるのか想像もつきませんでした。

実際に歩いてみると、とてもきつく脚が重たくなくなり、時間が経てば経つほど諦めなくなりましたが、私より10歳離れた同期達が私の背囊を後ろから押し、声をかけ励ましていただき無事完歩することができました。

完歩したあとの達成感、何とも言えないものでありこの区隊の仲間できなかった完歩することができたと思えます。

また、全体を通して野外勤務、掩体構築、通信といった座学等で習ったことを演習場を実際行ってみて気を付けなければならぬ点や、改善が必要など身をもって知ることができて大変良かったです。

今回の総合野営で学んだことを、これから発揮していきたいです。

我々は25キロ徒步行進を完歩しました。それは我々新隊員にとつて大変厳しいものでした。梅雨の晴れ間の日差しは、我々の肌を焼き、坂道は永遠に続くように感じられました。背囊は肩と腰を圧迫し、戦闘靴はその重みを段々と増しているの痛みは最早尋常なものではありませんでした。

しかし我々は同期への思い遣りを忘れませんでした。坂道で隊形を崩す同期を我々は励まし、互いに背中を押し支えました。この際私は、これまでの人生で一度もなかった思考、行動原理を発見しました。それは絆というも本位的な思考は薄れ、私は同期と苦楽をともにし、一帯感を確認しました。文字通り我々は一つであったと思います。

これから我々は離散し、それぞれの職種に応じた後期教育に入りますが、青空は、日本のどこにいても繋がっていると感じ、ともに日本を守る防人として「場所の違いは、絆は永遠である。」と信じております。



109教育大隊314中隊
2等陸士 貫名 龍之介